

XHEAD-2 データ放送サービス開始マニュアル (USB 編)

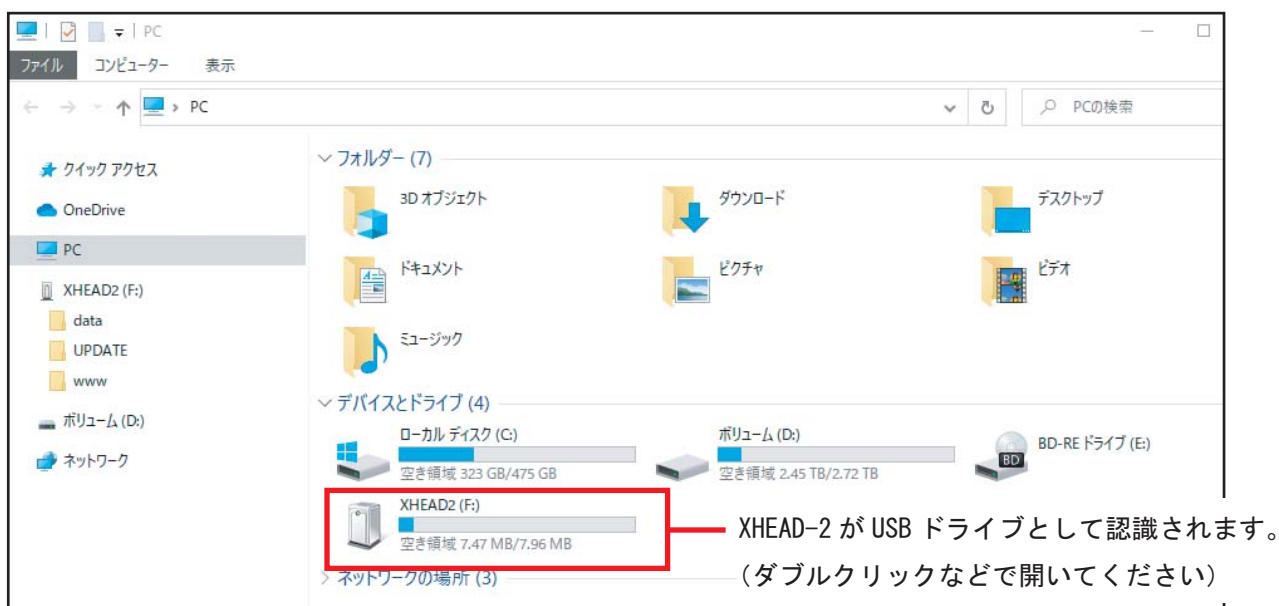
(ファームウェア Ver.2.16 以降をご利用ください)

本解説は、「BML コンテンツ開発者」より「*.ts」形式のBML データファイルが提供されていることを前提として解説いたします。

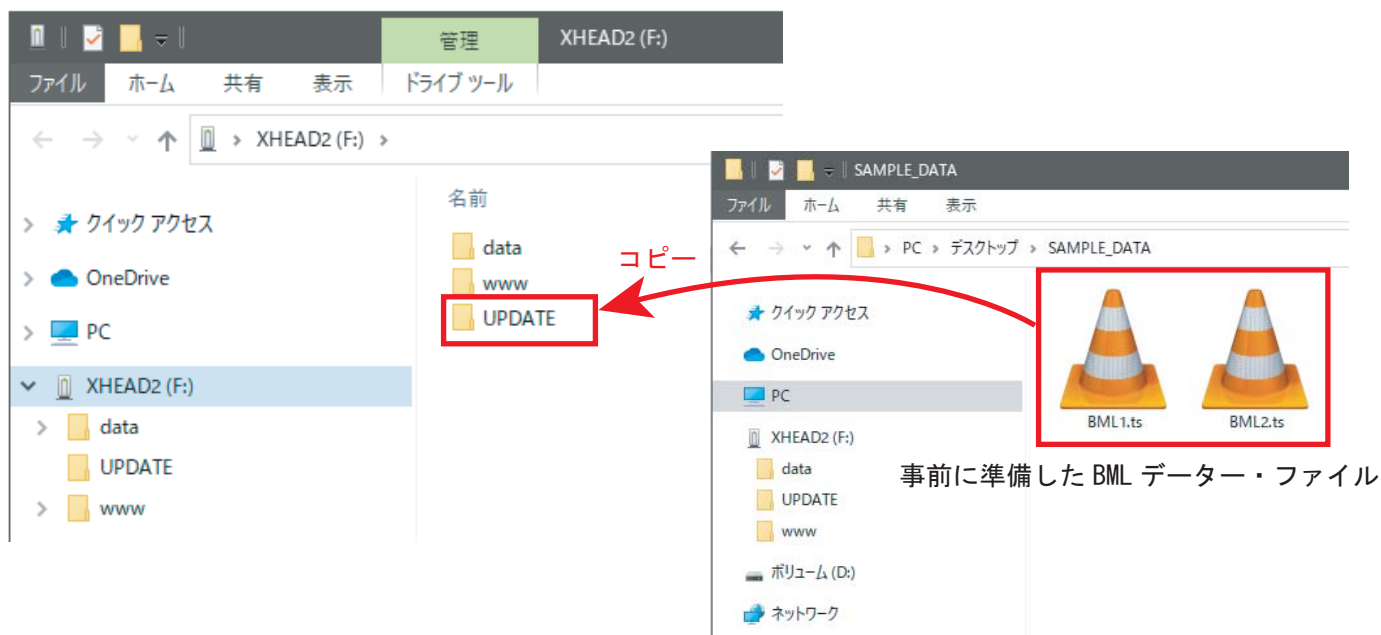
●USB ケーブルを利用してパソコン上の BML データファイルを XHEAD-2 の UPDATE フォルダにコピーする方法 (ファイルが「BML1.ts」と「BML2.ts」の2個の場合)。

①USB ケーブルを XHEAD-2 と Windows パソコン接続します (必ずパソコンと XHEAD-2 の起動が完了し操作可能な状態となっていることを確認の上、USB ケーブルを接続します)。

※XHEAD-2 の起動途中や電源切る操作の途中、パソコンの起動途中は USB ケーブルを接続しないでください。
※USB ケーブルを接続すると、XHEAD-2 内部のフラッシュメモリーを USB メモリーの様なストレージ機器として扱うことができます。ドライブ名は、パソコンの性能によって異なります。



②パソコンのマウスなどを用いてエクスプローラーから、パソコン上の「BML1.ts」と「BML2.ts」の2つのファイルを「XHEAD-2」のドライブにある「UPDATE」フォルダ内にコピー (マウスのドラッグ操作などでコピー) します。



- ③ファイルのコピーが終了すると、XHEAD-2 自身がデータ放送を送出可能な状態に自動アップロードします（アップロードの進行状況は本体の液晶画面に表示されます）。
BML コンテンツのデータサイズにもよりますが、BML データのアップロードには数分かかる場合があります。



表示されたバーが 100% になるまで時間がかかる場合があります。

なお、本体液晶の表示がアクティブではない場合、バックグラウンドで動作するため本体液晶に、これらのバーが表示されない場合があります。

アップロードが終了すると、コピーした BML データ・ファイルは XHEAD-2 の Update フォルダから自動で削除されます。

- ④アップロードが終了すると、データ放送サービスが自動で開始されます。

データ放送サービスが開始される時、画面が一度ブラックアウトし、送りが途切れるため、テレビ画面などに「放送信号が受信できません」、「放送信号のレベルが低下しています」などのメッセージが表示される場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。

- ⑤USB ケーブルを正しい操作（Windows10 の場合「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」）でパソコンと XHEAD-2 から取り外します。

- ⑥受信機（テレビやビデオレコーダー）のリモコンなどから「d」ボタンを押し、データ放送が開始されていることをご確認ください。

※旧型のテレビではリモコンの「d」ボタンを押した後、データ放送サービスの画面が表示されるまで、かなりの時間がかかる場合があります。

※Web サーバーを利用し、パソコンのブラウザなどから現在のデータ放送の状態を確認することもできます。

※データ放送を終了するには、Web サーバーの「データ放送設定」から、「データ放送スタート」を「OFF」に設定してください。なお、この場合も画面が一度ブラックアウトし、送りが一旦途切れます。

※XHEAD-2 をオールリセット（All_Reset）すると、「データ放送スタート」が「OFF」になるため、データ放送は停止されます（再度データ放送を利用する場合は「データ放送スタート」を「ON」にしてください）。

<参考>

XHEAD-2 の BML 機能で利用できるファイルは「BML1.ts」と「BML2.ts」の 2 個のみとなります。規格上は、さらに多くのファイルで作成される場合もございますが、XHEAD-2 とアクセスビジョン社の開発ツールをご利用いただく場合は、これら 2 個のファイルでのご利用となります。

※Web ブラウザから転送できる形式の「*.bml（ファイル名は何でもよい）」は 1 個のファイルですが、これは Web サーバーへの転送を簡易化するため「BML1.ts」と「BML2.ts」を一つのパッケージにまとめたものです。